

食品化学新聞

本業で持続可能に貢献

SDGsパートナーシップ賞受賞

キミカ

第4回ジャパンSDGsアワードの表彰企業が21日に公示され、アルギン酸の世界的パイオニアであるキミカが、特別賞「SDGsパートナーシップ賞」を受賞したことが明らかとなった。同日、菅義偉内閣総理大臣による表彰状授与が行われ、外務省のホームページに受賞者が掲載された。キミカは、今回の受賞者の中で唯一の食品メーカーであり、本業のものづく

りを通じて、持続可能な社会の実現に貢献している点が評価された。

キミカは、アルギン酸生産事業の中で、SDGsの中の主に4つの目標達成に向けてさまざまな活動を進めている。「1 貧困をなくそう」に向け、アルギン酸原料となる海藻を、継続的に漁民から買い取り、地元の収入を安定させ生活水準の向上に貢献。「7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに」に向け、環境不可軽減のために、千

葉工場の屋根に888枚の太陽光パネルを敷き詰めた。「12 つくる責任、つかう責任」では、本来腐敗して二酸化炭素に戻る漂着海藻を有効利用している。「14 海の豊かさを守ろう」に向け、チリ海藻産業界の一員としてさまざまな調査活動に協力し、海洋資源を守るための活動を支援している。

ジャパンSDGsアワードは、持続可能な開発目標の達成に向けてオールジャパンの取り組みを推進するために、優れた取り組みを行う企業・団体等表彰するもので、2017年から実施されている。